

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年10月15日
【四半期会計期間】	第22期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	R P Aホールディングス株式会社
【英訳名】	RPA Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 高橋 知道
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目23番1号
【電話番号】	03(5157)6388
【事務連絡者氏名】	取締役 松井 哲史
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門一丁目23番1号
【電話番号】	03(5157)6388
【事務連絡者氏名】	取締役 松井 哲史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第2四半期 連結累計期間	第22期 第2四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2020年3月1日 至2020年8月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	4,776,253	5,769,076	10,070,530
経常利益 (千円)	272,084	194,503	382,083
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	90,563	71,138	17,363
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	90,563	71,138	17,363
純資産額 (千円)	13,161,763	13,189,642	13,106,803
総資産額 (千円)	18,592,184	18,279,923	18,028,202
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1.63	1.22	0.31
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1.44	1.10	0.27
自己資本比率 (%)	70.8	72.1	72.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	382,321	1,300,365	126,856
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,597,062	315,985	2,266,324
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	8,864,442	209,550	8,658,288
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	13,524,998	13,169,161	12,394,441

回次	第21期 第2四半期 連結会計期間	第22期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.68	0.72

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社株式は2018年3月27日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場し、2019年3月27日付で東京証券取引所市場第一部に指定されました。

4. 2019年5月13日開催の取締役会決議により、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、第21期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大が全世界的に猛威を振るい、日本国内でも未だ収束の見通しも立っておらず、段階的な経済活動の再開がみられるものの、新型コロナウイルス感染症が国内景気や企業収益に与える影響については、依然として先行き不透明な状況が続いています。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,769百万円（前年同四半期比20.8%増）、営業利益は216百万円（前年同四半期比37.5%減）、経常利益は194百万円（前年同四半期比28.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は71百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!mini」とともに導入企業が拡大しました。一方でエンジニアリング、コンサルティング等の受託型案件の受注が減少しました。

その結果、売上高は1,508百万円（前年同四半期比16.8%減）、セグメント利益（営業利益）は176百万円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融、通信カテゴリにおいて売上高が大きく伸長しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は4,123百万円（前年同四半期比46.4%増）、セグメント利益（営業利益）は378百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を引き続き行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は9百万円（前年同四半期比52.4%減）、セグメント損失（営業損失）は157百万円（前年同四半期は83百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,656百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が774百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が242百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主にのれんが108百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円増加いたしました。これは主に買掛金が187百万円、未払法人税等が165百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円減少いたしました。これは長期借入金が116百万円、社債が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を71百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.1%（前連結会計年度末は72.7%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は13,169百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,300百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上194百万円、減価償却費の計上196百万円、のれん償却額の計上183百万円、仕入債務の増加額187百万円、売上債権の減少額258百万円、法人税等の支払額205百万円及び法人税等の還付額257百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は315百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出200百万円、有形固定資産の取得による支出137百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は209百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出121百万円、社債の償還による支出100百万円によるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	187,600,000
計	187,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	58,553,500	58,578,500	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
計	58,553,500	58,578,500	-	-

- (注) 1. 2020年9月1日から2020年9月30日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が25,000株増加しております。
2. 「提出日現在発行数」欄には、2020年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

- (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
該当事項はありません。

- (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年7月2日 (注)1	-	58,358,500	-	5,881,796	5,851,796	-
2020年6月1日~ 2020年8月31日 (注)2	195,000	58,553,500	5,850	5,887,646	5,850	5,850

- (注)1. 会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少し、その他資本剰余金へ振替えたものであります。
2. 新株予約権の行使による増加であります。
3. 2020年9月1日から2020年9月30日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が25,000株、資本金及び資本剰余金がそれぞれ750千円増加しております。

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
高橋 知道	東京都港区	23,700,000	40.47
大角 暢之	東京都港区	4,200,000	7.17
山根 大	東京都港区	2,454,000	4.19
GMCM VCP 1 PTE.LTD. (常任代理人 濱崎 一真)	150 CECIL STREET, #10-06, Singapore (東京都港区)	2,402,600	4.10
ソフトバンク株式会社	東京都港区東新橋一丁目9番1号	2,300,000	3.92
株式会社日本カストディ銀行(信託 口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	1,665,000	2.84
石井 岳之	東京都港区	1,595,000	2.72
西木 隆	東京都港区	1,350,000	2.30
松井 哲史	東京都港区	980,000	1.67
BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀 行)	FLOOR 20, 600 LEXINGTON AVE, NEW YORK, NY, 10022, (USA) (東京都千代田区丸の内二丁目7番1 号)	638,223	1.08
計	-	41,284,823	70.50

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 58,530,800	585,308	-
単元未満株式	普通株式 22,700	-	-
発行済株式総数	58,553,500	-	-
総株主の議決権	-	585,308	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,394,441	13,169,161
受取手形及び売掛金	1,313,198	1,070,375
仕掛品	634	11,542
その他	616,751	405,304
貸倒引当金	1,094	197
流動資産合計	14,323,930	14,656,187
固定資産		
有形固定資産	23,996	145,339
無形固定資産		
のれん	1,348,571	1,239,870
ソフトウェア	743,938	872,847
ソフトウェア仮勘定	250,985	139,723
その他	72	72
無形固定資産合計	2,343,568	2,252,513
投資その他の資産	1,336,707	1,225,883
固定資産合計	3,704,271	3,623,736
資産合計	18,028,202	18,279,923
負債の部		
流動負債		
買掛金	848,016	1,035,682
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	237,250	232,000
未払法人税等	29,700	195,078
賞与引当金	67,279	66,166
変動報酬引当金	133,122	52,628
その他	584,030	702,725
流動負債合計	3,099,399	3,484,281
固定負債		
長期借入金	1,122,000	1,006,000
社債	700,000	600,000
固定負債合計	1,822,000	1,606,000
負債合計	4,921,399	5,090,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,881,796	5,887,646
資本剰余金	6,017,915	6,023,765
利益剰余金	1,201,828	1,272,967
株主資本合計	13,101,540	13,184,379
新株予約権	5,263	5,263
純資産合計	13,106,803	13,189,642
負債純資産合計	18,028,202	18,279,923

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年 8月 31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年 8月 31日)
売上高	4,776,253	5,769,076
売上原価	3,015,127	4,000,079
売上総利益	1,761,125	1,768,997
販売費及び一般管理費	1,414,934	1,552,503
営業利益	346,191	216,493
営業外収益		
受取利息	50	54
その他	477	5,375
営業外収益合計	527	5,429
営業外費用		
支払利息	13,552	11,156
支払手数料	23,099	154
株式交付費	24,045	-
社債発行費	8,568	-
投資事業組合運用損	3,362	7,524
為替差損	690	656
その他	1,315	7,926
営業外費用合計	74,633	27,419
経常利益	272,084	194,503
特別損失		
関係会社清算損	491	-
特別損失合計	491	-
税金等調整前四半期純利益	271,592	194,503
法人税等	181,029	123,364
四半期純利益	90,563	71,138
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,563	71,138

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	90,563	71,138
四半期包括利益	90,563	71,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,563	71,138
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	271,592	194,503
減価償却費	120,770	196,280
のれん償却額	155,179	183,843
貸倒引当金の増減額(は減少)	243	897
賞与引当金の増減額(は減少)	7,848	1,112
変動報酬引当金の増減額(は減少)	95,807	80,494
受取利息	50	54
支払利息	13,552	11,156
社債発行費	8,568	-
株式交付費	24,045	-
為替差損益(は益)	589	109
投資事業組合運用損益(は益)	3,362	7,524
関係会社清算損益(は益)	491	-
売上債権の増減額(は増加)	256,888	258,242
たな卸資産の増減額(は増加)	1,559	10,908
仕入債務の増減額(は減少)	303,275	187,823
未払金の増減額(は減少)	22,318	99,149
その他	191,319	409,292
小計	883,808	1,256,161
利息の受取額	50	54
利息の支払額	13,552	7,794
法人税等の支払額	553,827	205,540
法人税等の還付額	65,843	257,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,321	1,300,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	78,120
関係会社株式の売却による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	2,768	137,438
無形固定資産の取得による支出	202,684	200,275
投資有価証券の取得による支出	680,918	-
関係会社の整理による収入	4,508	-
敷金の差入による支出	216,361	544
敷金の回収による収入	1,162	90,393
事業譲受による支出	500,000	-
その他	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,597,062	315,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	800,000	-
長期借入金の返済による支出	326,806	121,250
社債の発行による収入	991,431	-
社債の償還による支出	-	100,000
株式の発行による収入	7,399,817	11,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,864,442	209,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	589	109
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	7,649,112	774,720
現金及び現金同等物の期首残高	5,875,886	12,394,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,524,998	13,169,161

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
給料及び手当	363,184千円	387,462千円
賞与引当金繰入額	70,685	58,793

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	13,524,998千円	13,169,161千円
現金及び現金同等物	13,524,998	13,169,161

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ3,724,036千円増加しました。これは主に2018年11月5日に発行いたしました第5回新株予約権(行使価額修正条項・下限行使価額修正選択権及び行使許可条項付)の権利行使に伴う新株式発行によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,872,676千円、資本準備金が5,842,676千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)
【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォー メーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,812,487	2,817,452	20,700	4,650,640	125,612	-	4,776,253
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84,600	117,128	14,000	215,728	35,820	251,548	-
計	1,897,087	2,934,581	34,700	4,866,369	161,432	251,548	4,776,253
セグメント利益 又は損失()	238,397	350,102	83,540	504,958	57,881	216,649	346,191

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 216,649千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォー メーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,508,872	4,123,416	9,857	5,642,146	126,930	-	5,769,076
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,260	6,593	20,825	31,678	12,000	43,678	-
計	1,513,132	4,130,009	30,683	5,673,824	138,930	43,678	5,769,076
セグメント利益 又は損失()	176,440	378,688	157,967	397,162	13,637	167,030	216,493

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 167,030千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1円63銭	1円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	90,563	71,138
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	90,563	71,138
普通株式の期中平均株式数(株)	55,626,087	58,415,728
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1円44銭	1円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	7,370,139	6,272,262
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月15日

R P Aホールディングス株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高尾 英明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 倉田 剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているR P Aホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、R P Aホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。